学校番号	1015

令和７年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	総合英語Ⅰ	2	2	マイウェイ総合英語 マイウェイ総合英語 文法&ワーク

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・身近な事柄について簡単な英語で表現するための知識をさらに理解しましょう。
・身近な事柄についての英語を聞いたり読んだりして、それについて学習した文法事項を活用して表現しましょう。
・英語学習について振り返りながら、協力してより主体的に学習に取り組みましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと発話される、基本的な語句や表現からなる３文程度の英文の内容を的確に聞き取ることができる。 ・身近なトピックや知識のある社会的なテーマに関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができる。	・基本的な語句や表現から構成される１～３文程度の英文を文法事項などの知識も活用して内容を的確に読み取り音読することができる。 ・身近なトピックに関する簡単な文章を読み、概要を理解することができる。	・日常的な事柄について２文程度の英文でやり取りしながら、質問したり答えたりすることができる。 ・身近なトピックや日常的な事柄について、簡単な語や表現を用いて意見や情報を交換することができる。	・前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて自分や他人のことを紹介することができる。 ・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、まとまりのある内容を話すことができる。	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、複数の文を書くことができる。 ・興味・関心のある分野のテーマについて基礎的な表現を用いて、自分の意見やその理由を２文程度で書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、文法、機能などの理解をさらに深めるとともに、これらの知識・技能を「聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと」による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じてより正確に活用している。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で概要や要点、相手の意図などをさらに理解し、より適切に表現している。	外国語の背景にある文化に対する理解をさらに深め、相手に配慮しながら、より主体的、対話的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	動詞の種類と時制① Be 動詞と一般動詞	話すこと （やり取り）	a: be 動詞・一般動詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: be 動詞・一般動詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: be 動詞・一般動詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		話すこと （発表）	a: be 動詞・一般動詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: be 動詞・一般動詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: be 動詞・一般動詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		書くこと	a: be 動詞・一般動詞を使い、身近な事柄について正確に書くことができる。 b: be 動詞・一般動詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書くことができる。 c: be 動詞・一般動詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書こうとしている。	ワークシート 考査
		聞くこと	a: be 動詞・一般動詞について音声や機能を考えながら、正確に相手の意図を理解できる。 b: be 動詞・一般動詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図を理解できる。 c: be 動詞・一般動詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図の大枠を理解しようとしている。	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: be 動詞・一般動詞について音声や機能を考えながら、英文を正確に読み、内容を理解できる。 b: be 動詞・一般動詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容を理解できる。 c: be 動詞・一般動詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容の大枠を理解しようとしている。	音読 ワークシート 考査
	中間考査			
	動詞の種類と時制① 進行形と未来表現	話すこと （やり取り）	a: 進行形と未来表現を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 進行形と未来表現を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 進行形と未来表現を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		話すこと （発表）	a: 進行形と未来表現を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 進行形と未来表現を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 進行形と未来表現を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		書くこと	a: 進行形と未来表現を使い、身近な事柄について正確に書くことができる。 b: 進行形と未来表現を使い、支援を活用し、身近な事柄について書くことができる。 c: 進行形と未来表現を使い、支援を活用し、身近な事柄について書こうとしている。	ワークシート 考査
		聞くこと	a: 進行形と未来表現について音声や機能を考えながら、正確に相手の意図を理解できる。 b: 進行形と未来表現について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図を理解できる。 c: 進行形と未来表現について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図の大枠を理解しようとしている。	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: 進行形と未来表現について音声や機能を考えながら、英文を正確に読み、内容を理解できる。 b: 進行形と未来表現について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容を理解できる。 c: 進行形と未来表現について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容の大枠を理解しようとしている。	音読 ワークシート 考査

	期末考査			
2 学期	動詞の種類と時制② 現在完了形	話すこと (やり取り)	a: 現在完了形を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 現在完了形を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 現在完了形を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている	ペアワーク プレゼンテーション
		話すこと (発表)	a: 現在完了形を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 現在完了形を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 現在完了形を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている	ペアワーク プレゼンテーション
		書くこと	a: 現在完了形を使い、身近な事柄について正確に書くことができる。 b: 現在完了形を使い、支援を活用し、身近な事柄について書くことができる。 c: 現在完了形を使い、支援を活用し、身近な事柄について書こうとしている。	ワークシート 考査
		聞くこと	a: 現在完了形について音声や機能を考えながら、正確に相手の意図を理解できる。 b: 現在完了形について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図を理解できる。 c: 現在完了形ついて音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図の大枠を理解しようとしている。	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	: a: 現在完了形について音声や機能を考えながら、英文を正確に読み、内容を理解できる。 b: 現在完了形について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容を理解できる。 c: 現在完了形について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容の大枠を理解しようとしている。	音読 ワークシート 考査
	中間考査			
	助動詞 受動態	話すこと (やり取り)	a: 助動詞、受動態を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 助動詞、受動態を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 助動詞、受動態を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		話すこと (発表)	a: 助動詞、受動態を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 助動詞、受動態を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 助動詞、受動態を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		書くこと	a: 助動詞、受動態を使い、身近な事柄について正確に書くことができる。 b: 助動詞、受動態を使い、支援を活用し、身近な事柄について書くことができる。 c: 助動詞、受動態を使い、支援を活用し、身近な事柄について書こうとしている。	ワークシート 考査
		聞くこと	a: 助動詞、受動態について音声や機能を考えながら、正確に相手の意図を理解できる。 b: 助動詞、受動態について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図を理解できる。 c: 助動詞、受動態について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図の大枠を理解しようとしている。	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: 助動詞、受動態について音声や機能を考えながら、英文を正確に読み、内容を理解できる。 b: 助動詞、受動態について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容を理解できる。 c: 助動詞、受動態について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容の大枠を理解しようとしている。	音読 ワークシート 考査
	期末考査			
3 学期	不定詞 名詞的用法 形容詞的用法	話すこと (やり取り)	a: 不定詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション

	副詞的用法	話すこと （発表）	a: 不定詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		書くこと	a: 不定詞を使い、身近な事柄について正確に書くことができる。 b: 不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書くことができる。 c: 不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書こうとしている。	ワークシート 考査
		聞くこと	a: 不定詞について音声や機能を考えながら、正確に相手の意図を理解できる。 b: 不定詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図を理解できる。 c: 不定詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図の大枠を理解しようとしている	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: 不定詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	音読 ワークシート 考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度